

【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【AI が生命・健康産業の革新を後押し—2024 年、広東省のバイオ医薬・健康産業の売上高は 7,300 億人民元に到達】](#)

[【大湾区でヒューマノイドロボット産業のサプライチェーン統合が加速中】](#)

[【政策の恩恵が大湾区の自動車消費の潜在能力を引き出す】](#)

【AI が生命・健康産業の革新を後押し—2024 年、広東省のバイオ医薬・健康産業の売上高は 7,300 億人民元に到達】



6 月 15 日、広州にて「人工知能が実現する新型工業化探求の旅（生命健康産業）」というイベントが開催されました。このイベントにより、各業界のマッチングプラットフォームを構築することで、AI 補助診療、医療用大規模モデル、スマート医療機器などの先端分野を中心に、産学研用の連携によるイノベーションを促進し、技術・シーン・リソースの深い融合が促進されました。

会場では、2024 年に広東省のバイオ医薬・健康産業の総収入が 7,300 億人民元に達したことが発表されました。中でも、一定規模以上の医薬品企業の営業収入は 2 年連続で全国第 2 位を維持しており、医療機器や漢方薬産業の規模は全国トップとなっています。

「我々は、AI の力で専門医の診療をより効率的にし、小規模病院でも精度の高い医療を提供できるようにしたいと考えています」と語るのは、森啓智康(広州) 人工智能科技有限公司の会長、謝斌氏です。同社では、AI を活用した 2 つの製品「小智医生 (AI 医師)」と「小惠陪護師 (AI 看護師)」を開発しており、それぞれ全国トップレベル医院の診療効率化や下部医療機関の質向上を目指しています。

謝氏によりますと、「小智医生」は、スマート受付、AI による問診支援、電子カルテの自動生成など、全国トップレベル医院における診療プロセス全体を最適化することを目的としています。特に注目すべきは、「AI 医師の分身」を構築するという革新的なアプローチで、専門医の診療経験をディープラーニングによって学習し、再現可能なデジタル医療モデルとして提供していることです。「この AI 製品はすでに広州の複数のトップレベル医院で導入されており、今回のイベントを通じて、需要と供給のマッチングプラットフォームを構築し、さらに多くの医療機関との連携を進めたいと考えています」と述べました。

また、邁景基因医学科技有限公司の責任者である鄧泱泱氏は、同社が癌の分子診断と精密医療に特化しており、肺癌や大腸癌と内視鏡検査、治療等の腫瘍に対するターゲット治療を中心に取り組んでいると紹介しています。従来の研究は、文献やデータベースを手作業で調査する必要があり、非効率でコストがかかっていました。

そこで同社では、AI 駆動型の遺伝子解読プラットフォームを独自に開発しました。世界中の権威ある医学文献、臨床試験、薬剤開発データを機械学習で統合し、検査報告書に含まれる変異の約 80%を自動で解釈できるようにしています。現在すでに最初のバージョンのデータベースが運用されており、専門家に

よる手動レビューの負担が大幅に軽減されています。これにより、同社の博士・修士からなる専門チームは、より複雑な症例の分析や知識ベースの高度化に集中できるようになっています。

【大湾区でヒューマノイドロボット産業のサプライチェーン統合が加速中】



2025 年、広東省のヒューマノイドロボット（人型ロボット）産業は急成長を遂げています。ENGINEAI（衆擎機器人）の共同創業者でマーケティング責任者である姚淇元氏のもとには、一日に何十件もの顧客からの問い合わせが寄せられ、昼休みの時間でさえ対応に追われるほどの忙しさが続いています。同社では、今年中に小ロット方式で**1,000** 台の人型ロボットを納品する計画を立てており、すでに大量の注文を受け付けています。

このような状況は同社に限ったことではなく、Leju Robotics（樂衆機器人）や UBTECH Robotics（優必選）といった多くの広東省内の企業にも同様の動きが見られます。Leju は 2025 年の年間納品数が **1,000** 台に達すると見込んでおり、UBTECH の Walker S も **500** 台以上の意向注文を受けています。Geely（吉利）、BYD（比亞迪）、フォックスコンなどの大手企業の工場でも、すでに導入が進んでいます。

このような爆発的な受注の背景には、AI 技術の急速な進展、政府による強力な支援策、そして堅調な国内市場という三つの要因の相乗効果があります。6 月 6 日には、「広東省 AI・ロボット産業連盟」の設立が予定されており、サプライチェーンの統合や技術開発が加速すると期待されています。

多くの企業責任者は、ヒューマノイドロボット分野における中国と米国の技術格差は急速に縮まっていると述べています。独自開発可能な産業チェーンと強力な国内需要の支えを背景に、広東省は米中関税戦争のなかで顕著な強靱性を示し、世界の AI およびロボット産業の革新拠点として着実に歩みを進めています。

注目すべき技術の一つとして、触覚センサーがあります。Parsini Perception Technology（帕西尼）は創業 3 年あまりで、高精度で多次元な触覚センサーを独自開発・製造できる企業として頭角を現しています。その製品は米国で 10 万人民币元もするハイエンド性能の製品を数百～数千人民币元で提供可能であり、中国企業が業界標準をリードするポテンシャルを持っていると同社の創業者は延べています。

また、深圳にある「ロボットバレー」では、回路基板の開発期間を従来の約 3 ヶ月からわずか 1～2 週間に短縮する体制が整備されており、他の年と比較し、製品開発のスピードが飛躍的に向上しています。こうした体制によって、企業の競争力はより一層強化されています。

政策面でも広東省政府は多角的な支援策を打ち出しています。国家レベルの製造業イノベーションセンターには最大 5,000 万人民币元、省レベルには 1,000 万人民币元の補助金が支給されており、AI とロボット分野では、地方自治体の奨励金に対しては省が 1 対 1 のマッチング支援を行っています。

さらに、広州市では広東省智能産業基金が設立されており、すでに第一期として 20 億人民币元の資金を調達済みです。最終的には 100 億人民币元規模まで拡大することを目標にしており、科学技術開発成果の生産への転換を強力に後押しする仕組みが整いつつあります。

【政策の恩恵が大湾区の自動車消費の潜在能力を引き出す】



最近、広州市内の多数の新エネルギー車専門ディーラーには、乗用車の見学・試乗・価格問い合わせをする来店客が絶え間なく訪れています。広州市では「乗用車買い替え支援政策」の人气が継続しており、**2024**年には**10**万人の消費者が同政策の恩恵を受け、今年に入ってから約**6**万人の消費者が利用し、**120**億元超もの自動車販売につながっています。

広州市での同政策の盛り上がりは、広東省が政策の恩恵を活用して大湾区の自動車消費を活性化させている縮図であるとも言えます。今年に入り、広東省商務庁は「政策＋イベント」の組み合わせ戦略を展開し、複数の革新的な政策措置を打ち出し、異業態連携と全チャネル連携で自動車消費環境を最適化しています。今年**3**月から**5**月にかけては「購車惠民、悦享消費（車購入で恩恵を受け、楽しく消費）」をテーマに自動車消費促進キャンペーンを実施し、廃車更新・買い替え更新・新車購入支援など様々な施策を展開、消費者の購車体験

向上に努めました。同時に、革新的な政策で新たな消費シーンや業態を創出し、中古車流通を活性化させることで、消費者の多様化する自動車購入ニーズに対応しています。

中古車販売における「逆発票*」発行の簡素化政策の実施により、中古車取引のボトルネックが効果的に解消され、買い替え促進と消費のアップグレードが推進されています。ある高級車貿易会社の運営責任者は「以前は中古車を売却する際、中古車取引市場まで出向いて売主が発票を発行する必要がありましたが、現在は電子税務局の『特定業務逆発票発行』システムを利用すれば、10分程度で発票発行が完了します。当社では2025年、逆発票発行により中古車買取業務の効率が60%向上しました」と語りました。

* 逆発票：資源回収企業が個人売主に対して買取請求書（発票）発行を認める新しい制度。

「逆発票」制度の導入により、中古車業界が長年悩まされてきた個人売主の「最初の発票」が不足するという課題*が解決されました。広州市税務局のデータによりますと、2025年上半期だけで広州市で累計4万件の逆発票が発行されました。

* 「最初の発票」がない課題：

上流に位置する個人（例：中古車売主など）が適格な増値税発票を発行できないため、下流の資源リサイクル企業が仕入税額控除に必要な正当な証明書類を取得できず、控除可能な仕入額の証憑不足となり、税務負担の増大およびコンプライアンスリスクの上昇を招いていた。

大湾区戦略研究院産業発展研究センターの欧陽志楠主任は、中古車市場の活性化が新エネルギー自動車産業の成熟化に向けた重要なポイントであり、その核心的価値は「既存車両の消化→新規需要の創出」という好循環の構築にあると指摘しています。具体的には、以下の2つの効果が期待されます。1つは、新エネルギー車の流通チャネルを円滑にすることで、消費者が抱える「残存価値が低く転売しにくい」という懸念を解消し、初回購入のハードルを下げることです。もう1つは、中古車市場で形成される価格帯の多様化により、地方市場やエントリーレベルの需要を的確にカバーし、潜在的な新車購入層を育成できることです。

「逆発票」政策の実施に加え、広州市の税務局、商務局、公安局などの関係部門が連携し、中古車購入者向けの包括的なサービス体制を構築しています。

越秀区税務局第一税務所の李麗所長は「廃車処理に伴う税金還付については、『研修→手続き簡素化→処理速度向上』というメカニズムを確立し、還付承認にかかる時間を 15 営業日から 3 営業日に短縮しました。さらに購入者向けに『オンライン+オフライン+ディーラー』の三位一体の納税手続きシステムを整備し、『車両購入と同時に納税手続きが完了』する仕組みを実現しています。」と説明しています。

統計によりますと、2025 年上半期に広州市税務局が処理した新エネルギー自動車購入税の減免額は累計 20 億人民元以上にのぼり、越秀区だけでも 2,700 人以上の購入者が税制優遇を受けています。

買い替えを検討している乗用車オーナーにとって、この包括的なサービスシステムは「売却時の『逆発票』発行による時間短縮→税金還付手続きの効率化→新車購入時の補助金・減税による費用削減→ナンバープレート取得（3 日以内）」という一連の「シームレスな連携」を実現しています。さらに広州市では、複数部門間のデータ共有メカニズムの構築を進め、第三者機関による中古車情報検索プラットフォームの発展を促進し、取引の透明性向上を図っています。広州市税務局の関係者は「中古車取引市場や廃車解体業者とのデータ直接連携を模索し、政策の恩恵をすみやかに消費活性化につなげていきたい」と語っています。

政策のイノベーションはさらに、新エネルギー車が広州から香港への輸入の新たなルートを開拓し、香港の自動車消費市場の活性化をも後押ししています。このほど「広州－香港自動車輸出快速ライン」プロジェクトが始動し、第一便として 52 台の新エネルギー車が広州南沙から香港へ輸送されました。関係者によりますと、この「新快速ライン」は香港自動車市場の旺盛な自動車需要に応えて誕生しました。香港の自動車市場は完全に輸入に依存しており、年間輸入台数は約 5 万～6 万台に上ります。BYD（比亞迪）、XPENG（小鵬）、GAC

AION（广汽埃安）などのブランドが特に消費者から人気を集めています。2024年には、南沙港から香港へ輸出された新エネルギー車は **12,000** 台を超えました。ただし、香港の法律では、輸入車は香港到着後、税関申告やナンバー登録などの手続きが必要で、これにかかる待機期間は約 **30** 日間となっています。

香港消費者における中国本土製新エネルギー車への需要の持続的拡大を受けて、広州市商務局は南沙区政府と連携し、税関部門との調整を強化、手続きの最適化を図り、「広州－香港自動車輸出快速ライン」モデルの確立を実現しました。南沙税関の林睦俊副税関長は「この新モデルでは、中国本土から香港へ輸出される自動車のナンバー登録待機期間が従来の **14** 営業日から、到着後 **3** 営業日以内に大幅に短縮されました。これにより、中国本土から香港へ輸出される新エネルギー車の最終コストがさらに削減され、香港市民へ恩恵をもたらしています」と語っています。

香港の自動車ディーラー各社も、この新モデルがもたらす利便性に対してこぞって賞賛の声を上げています。GAC（广汽）ブランドの香港代理店代表である黄毅力氏は「新政策により時間が **3 分の 1**、資金コストも **3 分の 1** 削減でき、業界にとって大きな後押しとなっています」と評価しています。

【参考資料】

・ [AI が生命・健康産業の革新を後押し—2024 年、広東省のバイオ医薬・健康産業の売上高は 7,300 億人民元に到達](#)

・ [大湾区でヒューマノイドロボット産業のサプライチェーン統合が加速中](#)

・ [政策の恩恵が大湾区の自動車消費の潜在能力を引き出す](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。

(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいります
ので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====